



平成29年度総会告示

以下のとおり平成29年度総会を開催しますので、団体・企業会員、正会員、協力会員の皆様のご出席をお願いいたします。

日時：平成29年6月3日(土)13:30

場所：名古屋文化短期大学アセンブリホール

議題：平成28年度事業報告

平成28年度会計報告、会計監査報告

平成29年度事業計画

平成29年度予算

役員選任

役員選任について

現在の理事・会計監査の皆様は2年の任期が終わりますので、新役員(任期2年)につきまは定款に基づき改めて総会で選任します。なお、定款により再任が認められています。

6.3 フォーラム告知

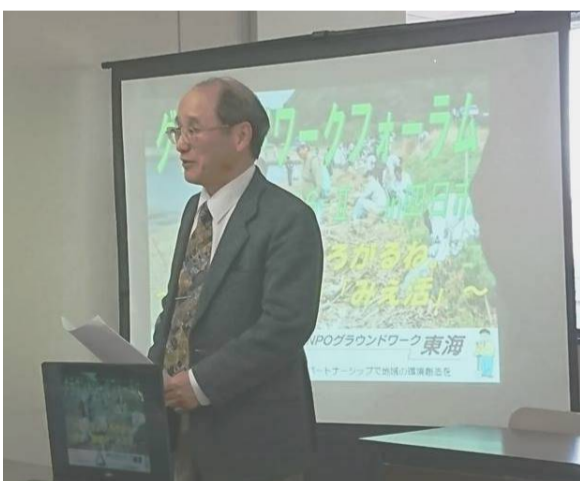
平成29年度総会終了後、第1回フォーラムを開催します。会員外の方も参加歓迎の企画です。お誘い合わせておいください。今回は、前回(3月11日)に引き続き、活動団体が元気になるには?について意見交換します。そして、盛り上がり次第で左手はビールに持ち替えて継続したいと思います。

日時：6月3日(土)14:00~17:00

場所：名古屋文化短期大学アセンブリホール(総会閉会后)

テーマ：つながるとひろがるね~活動団体が笑顔になるために~愛護からビジネスへ(仮題)

3月11日第2回フォーラム概要



2017年(平成29年)3月11日(土)四日市市「じばさん三重」研修室2にてグラウンドワークフォーラム2016-IIつながるとひろがるね~学生・地域の「みえ活」~を開催しました。参加者は16名と、いささか少なかったのが残念でしたが、意見交換では一人当たりの発言時間が確保できて満足感のあるフォーラムとなりました。

●開会挨拶 竹谷理事長

当会における企業会員にとっては多忙な3月ですが、タイトルにある「みえ活」は、環境活動をおこなう学生の方々や当会員の企業の出会いの場とすることをサブテーマとしました。今回のフォーラム内容は会員企業へは、会報紙などを通じてご紹介をしてゆきたいと思います。

第1部 事例発表



【1】水源地域ビジョン「木曾川の源流 味噌川ダムでの活動事例」(独)水資源機構 中部支社

~事務局：山本(国土交通省、水資源機構OB)

木曾川の源流にある味噌川ダムの地元である木祖村は人口減少が続いているが、活性化のため水源地域ビジョンに基づき下流市町との交流、観光客誘致に力を入れている。

特徴として、村長の強いリーダーシップのもと、名古屋市でのイベント出展などPRに努めた結果、イベント参加者が増加している。また、NPOを立ち上げて収益事業にも積極的に取り組んでいる。

【2】「立梅用水土地改良区&ふるさと屋(三重県多気町勢和町地区)」~高橋さん



あじさいの植栽活動の結果「アジサイ祭り」に年1万人以上の来客があるようになった。また「地域資源保全・活用協議会」の活動として食育、図書館、語り部、まめ屋の経営、みどりサポート隊(高齢者)などに取り組んでいる。

本年度立ち上げた一般社団法人「ふるさと屋」は、収益を考えて地域課題(害防、高齢者など)改善に取り組んでいる。

【3】「世界に誇れる環境先進大学を目指して」三重大学環境ISO学生委員会/グリーンキャンパス部 鄭さん、吉田さん



学生だけで環境ISO14001を取得することを目指して2006年スタートした。活動理念は、学生と地域住民の「環境マインドの向上」としている。

学内では、学生間の家財の譲渡によるリユース、古本市(3R)、学内の緑化活動を行っている。学外では、町屋海岸清掃、松名瀬干潟清掃、環境学習、広報活動を行っている。

(4)「東京大学むら塾」東京大学法学部/むら塾副代表 塩崎さん



「農業・農村を応援する」をコンセプトとして2015年に設立した。現在、会員は東大生限定で30名。「谷田皿引農地水保全会」を協働団体として千葉県富津市相川・梨沢地区(千葉県)をフィールドとして活動している。

今後の課題として、ひととのつながりから生まれる相乗効果を大切にする、地区の農業6次化への発展を考えている。

(5)「繋がって、みんなが笑顔になる」ホホ農園



(ホホ農園とは「林」を左右に分割して考案)

林さんはスターバックスの豊橋店長として働いているが、実家は田原市で5haの農地でキャベツ、ブロッコリー、大根、お米などを栽培している。写真は、当日朝とれたでっかいキャベツとブロッコリー。

自分たち農産物生産の担い手の責任として、誰がどうやってつくっているのかわかる生産物の提供。農業、野菜の凄さを伝えたい。

食品ループ(豚、鶏、牛の糞→肥やし→野菜をつくる、米をつくる→糞→豚、鶏、牛へ)の中で生産し消費者とは対等の対場で、ちゃんとした金額で野菜を売買する関係を作りたい

第2部 意見交換会

事例紹介をもとに意見交換をしました。テーマは①現地へ行っている学生の皆さんは田舎に住みたいと思いますか、②コミュニティの現状について、③環境活動参加者の減少について、④コミュニケーションでつながることから生まれるものは何か?など多岐にわたりました。

そして竹谷理事長が印象として以下のまとめをしました。

【立梅用水】 長く続く農村活性事業を行い、グローバルで最先端な活動をしている。

【三重大学】 教職員、企業に認知されている素晴らしい活動 地域とのつながりその成果を知り

たいと思った。

【東京大学】 相手の顔がみえるということをもとに、しっかりと地域に根ざした活動に結び付けている最先端の活動。

【ホホ農園】 日常の中でスターバックスのコミュニティが生み出す力を実感してる林さんならではの発表であった

第3部 片手にビールで意見交換



会場の「じばさん三重」借上げ時間切れに伴い、近くのピアレスへ会場を移して意見交換の続きをしました。そこでも参加者の広がりについて、発言がありました。

学内の活動だけでは、なかなか一般の活動団体とは交流がないので、GWフォーラムのような機会は積極的に参加していきたい。／むら塾では、いろいろ農作物を作っているが、いろいろな地域の特産を知って、その生産方法を活動している場で検証することもできるし、いろいろな可能性を試すことができる。作業してバーベキューなんていうのに学生は喜び参加の動機になるのでは？／ホホ農園には古い建物があるので、そこを改修して民泊というか、泊まって作業体験をするのもいいと思っています。古民家へ泊るのはいいですね。寝るところがあるっていうのは惹かれます。

●当日の参加者感想アンケート●

・社会人にコミュニケーションを教える場として地域を活用するという視点はあまり考えたことがなかった

・今回のテーマである「つながり・ひろがり」において大きな意義があったと思います。このフォーラムに参加しなければ知ることができなかった他団体さんの活動紹介を聞くことができたり、意見交換で来たりしたのは本当に良かったと思います。また、意見交換の中で様々な団体があるが抱えている問題は共通しているのかなとも感じました。また、ほかの団体の方の熱意を感じ、自分たちもモチベーションも上がったので参加してよかったです。

- ・もっとつながりを広げていきましょう
- ・いろいろ学ばせていただきありがとうございました
- ・他人との交流の大切さ、人の意見をよく聞くこと
- ・今、国交省と流域環境のことを取組んでいるのでとても参考になりました
- ・今回一番聞いてはっとしたのは、スターバックスのコミュニティの話でした。興味を持っている母体数が多いと、セミナーを開くとそんなに人が集まるのだと驚きました。単純に環境に関して人々に興味をもってもらえるようにアピールしなくてはと思いました。つまりアピール不足なのかなと気づきました。また、「つながり」の意識に薄かったのかなと思います。「つながり」を意識するとまた違った活動内容ができるかもと思いました。
- ・環境活動の根幹を見直すきっかけとなった

ホームページ引越しについて

現在閲覧いただいているホームページについて、プロバイダー（配信会社）から本年10月末でサービスから撤退する旨連絡があり、他のプロバイダーと契約しなおすことになりました。概ね9月から引越し先からの配信開始を目指して作業していきます。NewsLetter 第60号では新しいURLをお伝えします。

あいちサマーセミナー講師募集



昨年、東海農政局さんと参加した愛知サマーセミナーにグラウンドワーク東海は今年も昨年の経験を踏まえて参加したいと考えています。写真は昨年の原田副理事長の講義。今年の実施日、会場は7月15日（土）～17日（祝）、同朋高校、同朋大学他です。4月3日（月）から講師募集が始まります。テーマ制限なし。活動団体の皆様も日ごろのお考えを発表したらいかがでしょうか。詳細は<http://www.samasemi.net/>から。



あいち生態系ネットワークフォーラム

1月28日（土曜日）愛知芸術文化センターで愛知県内9地域において、大学、NPO、企業、行政等が連携して、具体的な活動を展開する「生態系ネットワーク協議会」の設立に取り組み、2016年11月、9番目となる尾張西部生態系ネットワーク協議会が設立され、県全域をカバーする体制が整ったことを記念してフォーラムが開催されグラウンドワーク東海メンバーも尾張北部生態系ネットワーク協議会会長他で参加しました。

2010年に愛知県で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で、生物多様性に関する世界目標「愛知目標」が採択されました。

愛知目標の達成に向け、愛知県では「あいち生物多様性戦略2020」を策定し、「人と自然が共生するあいち」を目指し、生きものの生息生育空間をつなげる「生態系ネットワークの形成」を推進しています。



会費納入のお願い

6月3日総会開催にあたり平成29年度会費納入手続きをご案内いたします。なお総会で決議権を行使できるのは会費納入済みの「正会員」様に限りです。口座番号などは以下のとおりです。請求書が必要な方は事務局へメール、FAXなどでお知らせください。すでに納入いただきました方は失礼をお許しください。

金融機関	口座番号	口座名義	会費
(振替用紙ご利用) 郵便局（ゆうちょ銀行）	00880-8-35758	NPO グラウンドワーク東海	個人正会員様 10,000円/年/口
郵便局（ゆうちょ銀行）	記号 12160 番号 45969591	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	個人協力会員様 3,000円/年/口
三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部	店番 150 普通 番号 5759603	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	企業・活動団体様 事務局へメールでご確認ください